

駅に観光物産 コーナーを

答 JR も前向きな回答



南里 正秀 議員

問 都市計画マスタープランを通じた都市づくりの最大の課題はJR宇美駅の無人化と考える。

JR九州は、長期的にネットワークを維持するため無人化はやむを得ないと説明。

今後無人化は進む一方と懸念される。

現状と今後の見通しは。

総務課長 無人化されて1年が経過。町長、議長の陳情をはじめ、行政区による署名活動など行っているが進展は見られない。

今後も有人化復活に向けて要望活動を続けたい。

問 宇美駅は町の「へそ」に当たる大切な拠点。無人化になり、若者たちの溜まり場になるなど、治安上も好ましくなく、町のイメージダウンにもつながる。有人化に向けたJR

の対応が困難と判断されれば、暫定的な措置として、町が駅舎を借り受け、観光物産コーナーや町民ギャラリーなどコミュニケーション空間として利用してはどうか。

町長 駅舎の有効活用については、JR側から、地元での活用の手立てがあれば、前向きに協力したいとの回答を得ている。

今後、活用方策も視野に入れ、宇美駅や周辺エリアの活性化に向けて検討したい。

問 「共働きの都市づくりの推進」として地域コミュニティを核とした都市づくりを目指しているが、現在直面している課題と解決策は。まちづくり課長

様々な広報活動を進めているが、町民への認知度は深まっていない。

新年度は地域コミュニ

ニティと行政のつなぎ役として「地域づくりコーディネーター」を配置し、より充実した支援をしていきたい。

問 都市づくりの課題を解決するためには多くの財源が必要。

今後、役場庁舎の建て替えや公共施設の大規模改修など厳しい財政状況が続く。

財政健全化計画を策定し、確実に実行する

ことが大切と考えるが。
町長 当町には避けて通れない重要な課題が山積している。

これらを着実に解決していくために、行政改革を推進していく必要がある。

財源確保に向けた歳出の抑制、歳入の拡大を図るため、選択と集中を基本として、組織一丸となって取り組んでいく。



▲シャッターが下りたままでの宇美駅



古賀 ひろ子 議員

女性が輝く社会を

答 積極的に女性を登用

問 「女性活躍推進法」を着実に推進するため、女性の活躍状況の把握、当町の現状と数値目標などの「事業主行動計画」策定・公表の考えは。

総務課長 国又は地方公共団体は、特定事業主行動計画の義務づけがされ、当町も素案を策定した。

採用した女性職員の割合、平均勤続年数の男女差、管理的地位に占める女性職員の割合、役職段階の女性職員の割合、男女別の育児休暇の取得などを把握、課題分析を行い早急に公表していく。

問 男女共同参画推進協議会は
① 行動計画の策定
② 基本条例制定に係る基本的事項など協議とあるが進捗状況は。

まちづくり課長

① 男女共同参画うみプランの改定時期になり平成28年度予算に計上し様々な取組を行っている。

② 基本条例の制定に向けた検討はしていない。

問 「男女共同参画計画」の策定及び「女性活躍推進」協議会の設置はどうか。

課長 「女性活躍推進協議会」の設置は任意だが「男女共同参画推進協議会」を活用し、女性の活躍を地域ぐるみで応援するための協議の場とする。

問 町行政における政策・方針決定過程への女性の参画拡大の考え、農業・防災分野に女性の参画、女性消防団員などの環境整備はどうか。

農林振興課長

宇美町農業委員会の選挙委員定数11名に対し、女性委員はゼロの現状。

平成28年4月施行の農業委員会法の改正により、女性農業委員が一人もいない農業委員会をゼロにしようという目標が定められている。

女性が積極的に登用されるよう、関係機関へ周知徹底を図る。

安全安心担当課長

平成27年4月現在、粕屋地区において、古賀市、篠栗町、新宮町で女性消防団員が入団している。

当町は平成27年12月時点で消防団定数197名に対し、176名、21名欠員状況。

消防団と協議研究を重ね、積極的に女性消防団員の入団促進を図りたい。



▲農家の方に高菜漬けを教わる